

令和7年度
南部教育事務所管内 北諸県地区 小・中・高等・特別支援学校
生徒指導主事等連絡協議会



児童生徒の
非行等の状況について



2025.6.24 宮崎県警察本部 生活安全部 生活安全少年課

少年サポートセンター

【目的】 児童生徒の安全確保、非行防止、健全育成

【 】

元警察官であり、少年問題に関する専門的な知識と経験を有する警察職員

～活動内容～

- ・ 学校における少年問題行動への対応・助言
- ・ 巡回活動
- ・ 相談活動
- ・ 児童生徒の安全確保に関する助言

等

【 】

少年問題に関する専門的な知識及び技能を有する警察職員

～活動内容～

- ・ 少年相談
- ・ 街頭補導
- ・ 継続補導
- ・ 立ち直り支援活動
- ・ 被害少年への支援活動
- ・ 広報啓発活動（非行防止教室等）



等

○初発型非行（窃盗など）防止

○情報モラル

○薬物乱用防止

○性被害防止（小学校低学年対象）

非行少年等の検挙補導状況

非行少年	R5	R6
刑法犯少年	270	273
犯罪少年	183	136
触法少年	87	
特別法犯少年	41	36
犯罪少年	29	31
触法少年	12	5
ぐ犯少年	1	0
不良行為少年	717	

非行少年等の検挙補導状況

	R5	R6
小学生	54	
中学生	74	
高校生	63	

小・中・高とも **増加**
低年齢化が **進む**

事例

事例 ①

男子生徒が、10代女子生徒に
自慰行為の動画送信を要求
→ 送信後、友達へ保存・拡散

事例 ②

10代男子生徒が陰部を撮影し画像送信
↓
受信した女子生徒が画像を保存・拡散



児童買春・児童ポルノ禁止法違反疑い（単純所持・提供）

事例

事例 ③

10代女性が、SNSを通じて知り合った
県外男性とわいせつ行為

- ・携帯の所持率**増加**
- ・1人1台端末の利用でインターネットを使う機会が**増加**
- ・全体としてはトラブルの経験は**減少**
(保護者向け調査より)

継続した情報モラル教育の効果

問題が起されば**影響大**

その他の問題

(児童ポルノ以外)

(生徒間・対教師・DV)

(企図も含む)

(大麻など)

気になることがあれば、

いつでも **警察へ連絡・相談!**

インターネットを通じて行われるものを含む いじめ問題

いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について（通知）

令和5年2月7日付 文科省

学校におけるいじめ問題への的確な対応について（通達）

令和6年1月9日付 警察庁

学校の な風土の醸成

問題行動の未然防止

学校 と **警察** とが積極的に連携して対応する

学校・警察相互連絡制度

【目的】 児童生徒の安全確保、非行防止、健全育成

学校・教育委員会

- 学校だけでの対応では解決が困難な事案
- 児童生徒が犯罪被害を受ける恐れがある事案
- 警察との連携が特に必要な事案

警察

- 児童生徒の逮捕・送致・通告事案
- 学校との継続的指導・支援が必要な事案
- 学校との連携が特に必要な事案

学校・警察相互連絡制度【改訂ポイント】

学校・教育委員会

本人・保護者の同意は**不要**

ただし、事案ごとに、同意の有無の検討は必要

「個人情報保護法」の理解・認識が必要

いじめの内容により、相談・通報

警察

学校・警察相互連絡制度

よりよい制度にしていくために

学校・教育委員会

【ともに“よりよい制度をつくりあげる”姿勢】

“学校**だけ**での解決は難しい”

は

“警察**だけ**での解決も難しい”

- “**対話**”の姿勢を基盤に
- お互いに“**できること**”と“**すべきこと**”をもちよって
- お互いの“**よさ**”と“**強み**”を生かしあって

互恵的で持続可能な制度へ

警察

児童生徒の「安全確保」「非行防止」「健全育成」へ

いつでも連絡・相談を！

宮崎県警察本部

宮崎北

宮崎南

日南

串間

都城

小林

えびの

高岡

西都

高鍋

日向

延岡

高千穂

センター名		対象区域
本部	少年サポートセンター	県下全域(各地区の取りまとめ)
宮崎北地区	少年サポートセンター	宮崎市北部・西都市・高鍋町・新富町 西米良村・木城町・川南町・都農町
宮崎南地区	少年サポートセンター	宮崎市南部・国富町・綾町
日南地区	少年サポートセンター	日南市・串間市
都城地区	少年サポートセンター	都城市・三股町・小林市・えびの市・高原町
日向地区	少年サポートセンター	日向市・門川町・諸塚村・椎葉村・美郷町
延岡地区	少年サポートセンター	延岡市・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町